

関係機関の連携強化について

- DV被害者への支援が後手に回らないよう、都内の様々な機関・職種の連携をこれまで以上に強化し、被害者の早期支援を図っていくことが重要
- 多様な困難に対応していくためにも、性的マイノリティ、外国にルーツを持つ方、DVや性暴力に関する活動をしている団体など、横のつながりを強化していくことが必要

民間支援団体が抱える課題

- 小さい民間活動は人的・経済的な点で慢性的な課題を抱えているため、小さな団体に対する経済的な支援が必要
- 団体の構成員の高齢化が進んでいる

東京ウィメンズプラザの活用について

- 広域自治体である都のセンターの在り方を検討し、都とウィメンズプラザとの役割分担を整理した上で、ウィメンズプラザの機能を今以上に強化し活用していくことが重要

支援者の育成・支援方法について

- 被害者の方々に力がついてきていることもあり、被害者の方々が不動産を共有で持ち、逃げないことを選択することが増えている。一時保護で終了とならないケースもある中、そのようなケースも含めて対応していくためにも支援者の育成や新しい支援方法の検討が必要

ジェンダー統計について

- 性の多様性への配慮から性別データを収集しないという動きがあるが、課題の分析や施策の効果測定を行うためには、性別データを収集・集計・公表していくことが必要